



息子が絵に苦手意識 解消法は

小3の長男は絵を描くのに苦手意識を持っていて、図工の授業がある前の日から「嫌だ、嫌だ」と繰り返して、困っています。

まっさらな状態から「自由に描きましょう」と言われると、筆をどう進めてよいか分からず、悩むそうです。絵の具で色を塗るときも「上手に塗れるか心配」と言います。

絵の具などの道具は基本的に学校に置いてあるので、家で一緒に練習するのでもなかなかできません。上手に描けなくても構わないと思います。苦手意識は解消したいです。アドバイスをお願いします。

先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー

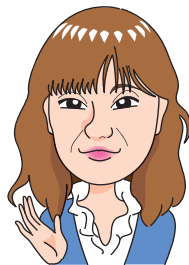


仙台市泉区
40代・会社員
からの質問

●回答してくれた人

畠山 厚子さん

はたけやま・あつこ 仙台市出身。仙台市住吉台小、鶴谷東小学校長を歴任。2019年4月から宮城県NIE委員。会コーディネーターを務める。



小学校の図画工作（図工）の授業は、児童がさまざまな表現活動に取り組みながら「感性」や「想像力」を育むことを目指しています。自分なりの感性で、のびのびと絵を描いたり彩色したりして、楽しく表現してほしいのですが、お子さんにとって「嫌いな時間」であるのはとても残念です。

描きたいものを頭の中でイメージしているのに、その通りにうまく描けないと感じたり、友達の作品と見比べて苦手意識を持ったりしているのかもしれない。

子どもの絵を描く様子を見ると、ある部分を一生懸命描いているのに全体がアンバランスになっていることがあります。例

えば人物を描かせると、顔はとても丁寧なのに手や脚が短かったり、首や腰がなかったりします。

絵がちょっとうまく見えることとして、ザリガニの絵ならば特徴あるハサミを最初に大きく感じたままに描く。そして頭や足などの部分を描いてつなげると迫力のある絵になります。自分らしく表現できたところを褒めると、どう表現すればよいか理解し自信につながると思います。

絵の具での彩色も小筆と大筆の使い方を覚えると、きれいに色を塗れるようになります。身近な生活の中で絵や色彩に関心を持ち、自分なりの表現を楽しむよう働きかけてください。

自分なりの表現褒めて

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▶記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▶宛先 〒980-8660 河北新報社
こども新聞係。メールアドレス
kyo@po.kahoku.co.jp

